

## 地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護  
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護  
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 19 年 5 月 28 日
事業所名	中央グループホーム和
事業所番号	2374700256
記入者名	職名 管理者 氏名 林 民子
連絡先電話番号	0587(65)5855

(様式1)

## 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>			
<b>1.理念と共有</b>			
1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	以前の理念の上に新しく地域密着型のグループホームとしての理念をくわえました	
2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホールの入り口に、旧、新の理念を掲げ、いつでも再確認できるようになっています	
3	家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	訪問者、あるいは会議等があった場合、掲示物を見ていただき、ホームとしての理念を説明しています	
<b>2.地域との支えあい</b>			
4	隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所の方が、自分で作ったお花を定期的に届けて下さったり、お花見に行った時など、写真を撮って届けてくださったりのお付き合いができています	
5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会の入会の希望をお願いしたのですが、老人会の方から意見がでて、今のところ入会できず。しかし、地域の盆踊り大会には必ず参加させていただき地域の方達とふれあっています	市の文化祭には、必ず利用者の作品を出品して、皆で見学に出かけます

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>老人会にて「認知症について」お話しして欲しいとの依頼があり実施しました。又、岩倉市のフォーラムに於いて、パネラーとして発表、出前講座開催に場所提供し、沢山の住民の参加がありました</p>		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価で助言していただいたことは、すぐに実行に移し、成果をあげています。とても参考になります。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度会議を開き、サービスについての報告をし、話し合い、意見の交換を行っています</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事あるごとに、市担当者に連絡したり、時には訪問し、指導いただいたりと、市との連携はできています。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>市主催の講習会に参加して、学びましたが、現在のところ制度について、必要な人がおりません</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待の話は、時々していますが、学ぶ機会は、今のところ設けていません</p>		<p>1ヶ月に1回の勉強会で、ぜひ取り上げようと思います</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>2年間新しい契約は結んでいませんが（退去者なし）、入居時は十分に説明し納得していただいておりますから契約を結んでいます</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>介護相談員の来訪時（2ヶ月に1度）相談員の方と入居者は談笑されています。介護相談員の報告を参考にしています</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>定期的なお便りを発信しています。当グループホームの御家族は、頻りに面会にきていただけるため、その都度報告しています</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御家族の面会時、常に会話し、ご要望、ご意見を伺っています。何にもありませんの答えが多いのですが</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎日の朝、夕の申し送り、1ヶ月に1回のミーティングを開き、意見、提案がでた場合それを実践することにしています</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者の状況や、行事などの場合、職員確保、勤務調整を行っています</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>やむをえない理由で職員が離職する場合、まえもって理由を説明しています</p> <p>新職員に対し、利用者の方から、色々と要望を伝えたり、教えたりする姿がみられます</p>		
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間計画は立てていないが、1~2ヶ月に1度の割合で、研修会を設けています</p>		<p>管理者は、外部研修の機会が多くあるが、他職員の外部研修の機会を確保していきます</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>今年度からグループホーム連絡協議会に入会しました</p> <p>医師会主催の同業者同士の意見交換会には、主席し、交流を持ち、お互いの質向上には取り組んでいます</p>		<p>連絡会の中で、同業者同士どしどし交流をもち、質向上に努めていきます</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>日常の会話の中から、ストレスの把握に努めています。休憩室も設けていますが、職員は余り利用せず利用者と一緒に過ごしています</p>		
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>上をめざす資格取得を奨励支援しています</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	必ず、事前訪問を実施し、御家族の思い、本人の希望など、把握するようつとめています	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	御家族とのコミュニケーションを良くとり、御家族の思いに答えられるよう努力しています	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	相談を受けた時は、親身になって相談にのり、ここで不可能な場合、色々な方法があることをアドバイスしています	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	本人と御家族に事業所にきていただき、事業所の雰囲気を見て感じていただいています	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	業務に追われる中、職員は利用者とのふれあいの時間を、少しでも持とうと努力しています	何度も何度も同じことを、繰り返し話されることも初めてであるように、熱心に聴いている職員の姿が良く見られます

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の状態を常に伝えているため、御家族も面会時など、リハビリをお手伝いしてくださったり、職員と共に、本人を支えていただいています		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	御家族に、外泊やお墓参り、外出など常にお願ひしておりますが、本人が高齢となり、手足や目の視力が弱ってくるにつれ、御家族の負担が増えました		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人が時折訪ねてみえても、中々思い出せないようですが、途切れないよう働きかけはしています		
31	利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	時に利用者同士のいざござはありますが、個々に話を聞くように努め、又、皆で食事、お茶、外出などをして、利用者の気分転換をはかっています		
32	関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去者がいないため、前例はありませんが、その時は、関係を断ち切らないつきあいを大切にしていこうと、おもいます		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>常に声かけを怠らず、一人一人の変化を把握し、訴えがなくても、職員から感じ取れるように努力しています</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>外出した時など、利用者の方から、色々なことを話して下さったり、雑談の中から聞き出す努力をしています</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>職員は、常に一人一人の状態を把握し、その人にあわせた1日を過ごしていただいています。 (やれること、やれないことを毎日把握します)</p>	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>できる限り本人の希望に添えるように、計画を作成し、その人にあわせてできることを、少しでも増やせるように、プランに取り込んでいるようにしています</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>対応できなくなった時は、その都度計画を見直し作りなおしています。期間に応じた見直しも、本人、家族、職員と供に話し合い、新しい計画を作成し、本人の自立を促すような計画を作成しています</p>	



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	時間を追った介護記録の記載、又本人の言葉を飾らずにそのままを記入し、体調変化、状態変化を、全ての職員が把握できるようにしています		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療法人の経営でもあり、通院は全面的に支援しています。又、デイサービスの利用も個々に応じて支援しています		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の区長、民生委員とは、2ヶ月に1度意見交換し、地域の情報を収集し、盆踊り、文化祭などに参加させていただいています		
41	他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	外部のケアマネジャーとの連携は、図っていますが、他のサービスを受けたことはありません		
42	地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの職員が、運営推進会議のメンバーであるため、情報交換、協力関係は築かれています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	医療法人の経営でもあり、主治医であるため、いつでも適切な医療はうけられています		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	専門医ではありませんが、主治医に相談、指示、助言していただき、必要に応じて主治医から専門医を紹介していただいています		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	管理者が准看護師であり、常に健康管理、状態変化に応じた支援が、行えます。又病院の看護師とも、常に連携がとれています		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	家族や、病院関係者と情報交換し、早期に退院できるようにつとめています。入院中は時々面会に行き、本人の状態を把握しています		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	入居時に家族、本人アンケートを実施し、家族の意向、本人の意向を確認し、主治医とも連携しています		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	症状に応じ、本人、家族の意向を再確認し、検討しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	今まで、事例がありません		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	その人その人に合わせた言葉かけをおこなっています。勉強会やミーティングなどで、おりにふれ徹底するよう指導しています		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	常に声かけをおこなっています。利用者に自己決定できるような、声かけを心がけています		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	一日の流れにある程度添ってはいますが、本人の体調、気分、ペースを大切に支援をおこなっています		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	デイでの主張美容カットを利用していますが、皆さん満足の様です		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備、片付け、盛り付けなど、職員と一緒にを行い、食事も一緒にテーブルでします。話題を提供し、笑いのある楽しい時間がとれるよう、心掛けています		
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	コーヒーの好きな方は、一人で喫茶室へ、お酒の好きな方は、飲みたい時(夕食時)に、又外出した時大空の下でと、一人一人の嗜好を支援しています		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンを把握し、トイレ誘導により日中のリハパン使用、おむつ使用者はなく、全員布パンで過ごしていらっやいます		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	今のところ、職員の都合で決めています 入浴するかしないかは、本人の確認をとります。しかし、強制的(入浴拒否が日常の場合)に、入浴していただく場合もあります		なるべく利用者の意向に添うよう努力したいと思いますが、今のところ利用者は満足の様です
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	体調や、その人の状況に応じ、休息がとれるよう支援しています		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その人にできること、やりたいことをみだしお願いすることにはしています 外出や、遠出、芝居見学などの行事で、楽しみを持って過ごしていただけるよう支援しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	お金を持っていただき、買い物に行くと「なん にも買うものがない」と使用されないが、喫 茶店にいった場合は、その都度ではないが 支払いしていただくこともあります		
61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひと りのその日の希望にそって、戸外に出かけ られるよう支援している	天候に左右されますが、毎日の散歩は、特 別な事情がない限り実施しています。個人 的に出かけた人は、希望をお聞きしても なく、こちらの方からお誘いすることに しています		
62	普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けな いところに、個別あるいは他の利用者や 家族とともに出かけられる機会をつくり 、支援している	カラオケボックス、外食、ショーなど、 希望者をつのり出かけます。初めての 方が多く、とても喜ばれ生き生きとし た表情をしてくださいます 又、家族を交えて行きます		
63	電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をし たり、手紙のやり取りができるように支 援をしている	全ての利用者の家族の面会が多いので、 あまり必要でないと思われませんが、暑 中見舞い、年賀状は全ての利用者にし ていただいています 携帯電話をお持ちの利用者もあります		
64	家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの 人たちが、いつでも気軽に訪問でき、 居心地よく過ごせるよう工夫している	家族の訪問はとても多く、家族以外の 入居者にも気軽に声をかけていただき、 楽しい会話が聞かれます		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法 指定基準における禁止の対象となる具 体的な行為」を正しく理解しており、身 体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関しては、身体拘束禁止を掲 げていることもあり、特に皆で注意し あい実践しています 何気ないスピーチロックにも配慮して います		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、建物の3階にあり、道路に面しているため不審者侵入防止のため、常時施錠してあります。しかし、階段、エレベーターは開放され職員で、見守りしています		
67	利用者の安全確認  職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の姿が常に職員の視野に入るよう、フロアーには常に2名の職員が見守っています		
68	注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	所定の場所で管理していますが、必要に応じてその人の状況に応じ貸し出しをしています		
69	事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット、事故報告書などを活用し、ミーティングにいかしています。又、職員間で事故につながるようなことを、つねに話題に取り上げ、事故防止に取り組んでいます		
70	急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全職員に1年に1度訓練を行っています 事故が起こった場合、その都度指導しています		消防署に協力を求め、本格的な訓練を行いたいと思っています
71	災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昨年は、消防署の協力を得て訓練を実施しました 今年は、災害対策委員を設け、より詳細な災害対策を計画中です		日中、夜間にわけて、対策委員に計画を立ててもらい、訓練を行います

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	本人の持てる力を維持、向上をめざす介護は、リスクが大きいことを常に家族に説明し、理解をもとめています。家族はとても協力的です		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化、異変があった場合、バイタルチェックし、状況を管理者に報告、職員間で共有し、必要に応じて受診しています		
74	服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	介護記録と一緒に薬の効能書もファイルし、いつでも確認できるようにしています 又、配薬は誤薬がないよう、3度確認し、服薬の際は二人で再確認しています		
75	便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	トイレ誘導時、お腹のマッサージをしたり、繊維質の食物や乳製品をとりいれた食事を提供しています		
76	口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後は実施していませんが、朝、夕食後の2回の口腔ケアは実施しています		
77	栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取状況をチェック表を作り、毎日記録し、各人の介護記録に転写しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防のマニュアルがあり、訪問者、職員は入り口にて、うがい、手洗い、ウェルパス消毒を徹底しています		
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日買い物に行き、新鮮な食材をつかっています 食中毒予防のマニュアルを作り、常に衛生管理を行っています		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の正面に入居者が制作した、貼り絵や作品を飾り、温かい雰囲気がだせるよう努力しています		
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	地域の人からいただいた季節の花を飾ったり、好きな音楽、ビデオを楽しめるように配慮し、居心地良い空間を作るよう心がけています		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	好きな場所に座り、新聞を読んだり、畳の上では洗濯物をたたんでくださったり、利用者同士で会話を楽しんだりされています		



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	馴染みの物を家族にお願いしていますが、なか なか持参されず、職員は、家族からの手紙、お孫 さんの作品など本人の目に触れるところに掲示して います		利用者と一緒に、お部屋の飾りつけ等をやってい きたい
84	換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	各部屋に換気扇が取り付けられてあり、外気との温度 差がないよう、利用者の状態に応じて空調もこま めに温度調整をしています		
85	身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	あちらこちらに手すりを設けています ホール、廊下などには、つまづくような物を排除 するようにしています		
86	わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	その人その人の能力を活かして、掃除、洗濯ほ し、食器拭き、買い物、ごみだし、料理などのお 手伝い又、他の人の散歩時の手引きなど、職員の 見守りをお願いしています		
87	建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	外回りは建物の構築上、活用できないが、ベラン ダにおいて、プランターを利用し、季節の野菜を 作り、利用者と共に成長を見守り、収穫しおいし くいただいています		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない</p> <p>利用者の方から訴えがあり、又職員もそれをくみとれるよう努力し支援しています</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p> <p>業務に追われていますが、少しの時間でも世間話をしたりして、ふれあう時間をもっています</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> <p>自力活動が可能な利用者は、それぞれのペースで暮らしていらっしゃいますが、全介助のかたは、職員の手助け介助がなければ無理だと思います</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> <p>全介助で表情に乏しくなった利用者も職員の声かけで、ときに以前と同じ表情をしてくださるときがあります</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> <p>身体状況により、外出できない方もいます</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> <p>医療法人の経営でもあり、利用者は安心して暮らしています</p>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> <p>身体状況、その他色々なことを、職員の方から把握し、処理できるようにしています</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない</p> <p>家族との交流は、家族の面会が頻繁であるため、十分にできています</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> <p>併設のデイへ言ったり、又デイの利用者が訪ねてきたり近所の人々が訪ねてきたり、少しずつ増えています</p>

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	老人会などの場で、グループホームや認知症の話題がでたりして、関心をもってください、訪ねてきていただいたり、少しずつ応援者がふえています
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	生き活きと働いていますが、時に利用者（割合しっかりしている方）の対応に、ストレスが溜まっていることがあります
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	「家に帰りたい」の職員の質問に「ここがええ、安気で」の答えが返ってきます
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない	家族からは、「ここにいれば安心です、良くしていただいて」などの言葉がよく聞かれます」

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・利用者全員日中は、リハパン、オムツを使用せず、布パンツで過ごして頂いています。
- ・その人その人の能力に応じ、個別の介護を心がけ、その人の力を引き出すよう努力しています。
- ・ラジオ体操、リハビリ体操等、手足の機能が衰えないよう、毎日の日課の中にとり入れています。
- ・家族の面会が多く、職員の自立をめざした介護に理解を示して頂き、家族と共に本人を支援しています。
- ・退院後は、早期に離床させ、それなりに成果が上がっています。(寝たきりにさせない介護を実践しています)